

CHANGE

申告本数、それに伴う出面人数を明らかにしない！

会社は更なるコストダウン、要員削減を狙っている！

4月25日、関西地本と関西支社における業務委員会が開催され、「令和4年度要員計画について」の会社からの説明と、組合からの申第24号「2022年3月ダイヤ改正要員について」について議論が行われました。

この会議の中で仕業検査の指定本数は23本であるが、定期列車本数だけで23本あり、季節列車本数は0本、臨時列車の数は入っていないことが明らかになりました。

さらに、実際の1日の仕業本数は臨時列車の2.7本を入れた25.7本であることが明らかになりました。しかし、この本数に伴う出面人数は明らかにせず、挙げ句の果てに「会社が責任を持って要員は確保している」と繰り返すのみで、全く議論がかみ合いませんでした。

また、会社は申告本数については指定本数(昼20本)(夜11本)と明らかにしていますが、実際の本数からかけ離れた少ない本数であり、その内訳(実態)を明らかにしていませんでした。

申告担当の出面人数は申告本数によって人数が変わります。よって申告本数に伴う出面人数を明らかにすることが、現場で作業する社員にとってはとても重要です。

しかし、会社は実際の申告本数も明らかにせず、出面人数も明らかにしません。相変わらず「会社が責任を持って要員は確保」していると繰り返す事に終始しました。

また、会社が説明した申告指定本数が、昨年(昼22本)から今年は(昼20本)に減っているのにも関わらず、理由を問うと「運用上の都合」としか答えませんでした。

しかし、組合側が2022年のダイヤ改正後の3月12日から4月20日まで行った調査の結果では**昼の平均27.7本(会社提案20本)**、**夜の平均20.1本(会社提案11本)**もありました。会社が示した申告本数はあまりにも実際の作業からかけ離れた申告本数であり、そのため会社は申告本数、出面人数について沈黙を決め込んだのです。

今後、私たちが危惧していることは

- 申告本数、出面人数を明らかにせず、なし崩し的に出面要員を削減するのではないか？
- 昼の仕業班長を1名体制に確定してくるのではないか？
- 仕業各班が現在行っている一晩の検査本数「1班最多12本」を1本増やし13本とし、今の3班体制を2班体制としてくるのではないか？

この危惧が現実になれば、さらに仕事に余裕がなくなり、焦りや疲労の蓄積などにより、重大な車両故障や労働災害を引き起こすのではないかと懸念しています。

私たちはこれを許さないために調査活動を行い、具体的なデータをもって闘っていきます！